

Hip 漆喰施工の際に注意していただきたいこと（コテ用）

株式会社カラーワークス

記

- 1 塗装面の汚れは塗膜剥離の原因となるのでしっかり落とすこと。
- 2 既存の壁に塗る場合は、下地の状態を良く確認すること。手で触ると下地がポロポロ剥がれ落ちたり、あるいは剥がれている場合は、補修をするかすべて剥がしてから施工をする。
- 3 Hip 漆喰は自然素材のため多少の色ムラが生じる場合がある。
- 4 気温の低い日や湿度の高い日の施工は見合わせる。乾燥不良でムラになりやすい。特に気温 5℃以下、湿度 75%以上時の施工はしない。
- 5 ジョイント部・ビス頭のパテは無機系のパテを使用すること。樹脂系のパテは塗膜の隠ぺい不足やクラックの原因となる場合があるので使用しない。また、下塗り用のパテも使用しない。
※ 推奨パテ 宇部吉野石膏㈱ タイガージョイントセメント（ペーストタイプ）
- 6 下塗りには水性カチオンシーラーを使用する。主原料の消石灰が粒子のため、吸い込みムラが起きやすい為。
※ 推奨水性カチオンシーラー メーカー㈱ MKマルチシーラーNANO
- 7 下塗りは十分乾燥させること。乾燥時間は水性カチオンシーラーの施工仕様書を参照のこと。
- 8 使用前に材料をよく攪拌をすること。攪拌不足だと色ムラが生じる可能性がある。
- 9 膜厚は 1～2 mm程度に塗りつける。厚く塗ると割れる場合がある。
- 10 区画された同一面は出来るだけ休まず作業する。途切れると色ムラが発生する恐れがある。
- 11 施工中、施工後は十分に換気をして乾燥を促す。ただし、ドライヤーをあてるなどの強制乾燥はしない。急激に乾燥させるとクラックが生じる恐れがある。
- 12 塗装直後と乾燥後は色が違う。乾燥すると色が薄くなる。
- 13 浴室、水回りへの塗装は避けてください。水が塗装面にかかると変色します。

以上

